



駒澤大学

茨城県同窓会会報
常陸18
 No.18
 KOMAZAWA UNIVERSITY AND KOMAZAWA JUNIOR COLLEGE

明日のために、今日の「櫻」をつなごう

昭和50年法学部卒
 駒澤大学同窓会茨城県支部長
野村 光造



駒澤大学同窓生の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。同窓会茨城支部は平成九年に発足いたしました。以来、二年に一度総会を開き、前回令和元年に第十二回総会を土浦市で開催以降、新型コロナウイルス感染症の影響で約四年間活動を自粛しておりました。この間現役の学生におかれましては学生生活に苦難を強いられ、就職活動につきましても大変な苦勞をされたことと察します。

そのような中、感動のドラマが生まれました。本年一月二日、三日に行われた「第九十九回箱根駅

伝」に優勝し、史上五校目となる大学駅伝三冠を達成いたしました。大八木弘明監督はじめ選手の皆様には感謝を申し上げますとともに御礼を申し上げます。そして今年四月に行われた「第三十三回かすみがうらマラソン」兼国際ブラインドラマソン」前夜祭において、選手に帯同されていた大八木総監督に支部を代表して飯山前支部長とともに祝意を述べることができました。

支部事務局会では、ホームページを開設して支部の沿革・活動記録をまとめていただきましたので、是非ご覧ください。そして六月十日には久々の役員会を開催し、二十七名の出席で「第十三回支部総会」を本年開催することを確認いたしました。

事業につきましては支部会則に各種講演会、研修会および交流会の開催・大学の部活動への支援・同窓会本部との共同事業の開催とあります。そして「女性部会」の活動にも期待いたします。つきましては、次回総会におきまして皆様のご意見をいただき楽しく活力ある支部を目指します。皆様のご参加をよろしくお願いいたします。

牛久市長表敬訪問

8月8日(火)、野村同窓会支部長と事務局楠田にて、9月に任期満了にて勇退される同窓会副支部長でもある根本牛久市長を表敬訪問致しました。全国の駒大出身の首長名簿を拝見しながら各分野で活躍する駒大出身者の話で交流を深めました。



(写真左より)▶ 野村 茨城同窓会会長 | 根本 牛久市長 | 楠田 茨城同窓会会員

大学への想い

昭和60年度卒 法学部法律学科
黒澤 悦子



去る六月十七日に、法学部大久保ゼミ五十周年記念祝賀会が深澤キャンパスで行われました。八十九歳になられた大久保治男名誉教授は心なしか小さくなったように見えました。が挨拶は当時の講義を思わせるような口調で、私を四十年前に引き戻してくれました。八王子ゼミナーハウスでの春合宿、伊豆大島での夏合宿、史跡調査や班別発表会、そしてゼミ対抗ソフトボール大会(永平寺杯)など様々な思い出が走馬灯のように頭の中を駆け巡りました。また、「教育とは、共育、協育、興育、亨育であり、優秀な人格形成につながる。」という教授の教えのもと、私は多くのことを学び、多くの人と出会い、楽しい日々を送ることができたことに感謝の気持ちが溢れてきました。

会の最後に、校歌を久しぶりに歌いました。東都大学野球大会で何度も優勝し歌ったからでしょうか音楽が流れると自然と歌詞が浮かんできました。神宮球場から

谷駅まで歌いながら歩いたことも……。『新人立てり立てり竹は波打つ：我等が校旗は雲と起これり』懐かしい校歌をゼミ生一同が一緒に歌える喜びをひしひしと感じ、このうえない幸せを実感した瞬間でした。

私にとって駒澤大学は、貴重な経験をさせてくれた所であり、大学生生活は、かけがえのない人生の財産となりました。今でも同期の仲間とは時々会い、絆を深めています。

駒澤大学は、母校であり、母港であるのだと強く感じています。

のむらの茶園
 のむらののむカフェ

お茶屋さんが作った…
 さしま紅茶
 さしま烏龍茶
 ふわふわも茶大福
 煎茶まんじゅう
 お茶の葉パイ
 抹茶かき氷
販売中!

NOMURANO NOMU CAFE

野村産業株式会社 〒306-0504 茨城県坂東市生子2702
 TEL 0280(88)0511 FAX 0280(88)7316

いばらきフラワーパークの魅力(見どころ)

昭和61年度卒 経済学部経済学科
廣瀬 政和

私は、今年3月に37年間の公務員(石岡市役所)生活を終え、現在、石岡市の外郭団体である石岡市産業文化事業団の常務理事として第2の人生を送っています。

石岡市産業文化事業団は、いばらきフラワーパークをはじめ、茨城県や石岡市が所有する4つの観光施設を管理・運営をする団体です。その中で、私が常勤している「いばらきフラワーパーク」について紹介したいと思います。

いばらきフラワーパークは、筑波山のふもとに位置し、JR石岡駅から車で20分ほどの、日常のあわただしさを忘れてしまうような、のどかな田園風景が広がる場所にあります。令和3年春リニューアルオープンし、園内には約900品種ものバラに出会うことができます。「バラテラス」「色別バラ」「香りのバラ」「バラのトンネル」などのエリアをはじめ、四季折々の草花に出会うことのできる森や丘が広がります。

また、様々なワークショップや、体験を楽しむことができるアトリエ。「バラ農家に招かれる」をコンセプトとしたレストラン、バラをモチーフにした商品を取り扱うマーケットプレイスやカフェなど、四季折々の花を楽しむだけで

でなく「見る」「香る」「味わう」「触れる」「聴く」の五感を刺激する豊かなひとときを楽しめます。五感で感じる体験で、花との距離がぐっと近くなります。

いばらきフラワーパークの見どころは、何ととっても県花であるバラです。バラの見ごろは、春バラと秋バラがありますが、どちらも見ごたえがあります。

春バラの見ごろは、5月中旬から6月中旬で、特徴は、花の大きさと色の鮮やかさです。特に春の一番花は華やかで大きく、綺麗な形の花をつけます。しかも、気温の上昇に伴い一斉に咲きはじめるので、まさに園内がバラ一色となります。秋バラと比べ華やかな色合いのものが多くなっています。秋バラの見ごろは10月初旬から11月中旬で、特徴は濃い色と豊かな香りです。気温が下がっていく時期に咲くため、ゆっくり開花し、花本来の模様や色味が出やすく、香りも深くなります。春バラと違いシックな色合いの花を咲かせます。秋バラは春バラに比べ、咲く花の数が少ないため、景色としては少し寂しく感じてしまうかもしれません。一輪一輪が美しいので見ごたえは十分です。

バラだけでなく枝垂れ桜やシヤガ、ヒマワリやダリアなどバラ以外にも季節を感じる草花が咲いているので、年間を通して楽しめる施設となっています。

また、いばらきフラワーパークは宿泊できるのが特徴の一つとな

っています。フラワーパークの山頂に広がるエリアには、令和3年夏にオープンした筑波山と里山の景観を楽しむ「サークルロッジ」と、より森を近くに感じられる「グランピングエリア」があります。

昼は木漏れ日を感じながら思いっきり遊び、夜は星空と月明りを楽しむ。そして、鳥のさえずりで目覚め、開園前の静かな園内を散歩。他では感じることでできない空間が待っています。日帰りでも得ることのできない楽しさが、フラワーパークでの宿泊の醍醐味です。最後に、秋バラの開花と合わせ、10月上旬から1月中旬までイルミネーションを実施しており、多くの観光客で賑わいを見せています。

同窓生の皆様、石岡市へお越しの際は、是非、いばらきフラワーパークへお立ち寄りいただければと存じます。



いばらきフラワーパーク 入口

サークルロッジ
(宿泊施設)

日々是精進

平成7年度卒 仏教科
竹内 盛恭



私は、平成7年3月無事卒業を迎えることができましたが、残念ながら卒業式には参加することができませんでした。なぜなら、卒業式1ヶ月前に大雄山最乗寺(神奈川県南足柄市)に上山することになっていたので。学生時代は、夜中にお腹が空けばコンビニで好きなものを買って食べ、遊びに行きたければ自由に遊びに行き友人宅に泊まることもしておりました。しかし、上山した日から生活は一変しました。食事は一汁一菜、常に修行中は先輩である古参に厳しく指導され、もちろん外出もできず、テレビも雑誌も電話も全てが遮断され、世の中の一切の情報が入って来ない生活が始まりました。まさに外界から隔離された生活です。このような修行は大変厳しいものですが、本当に多くの気づきをいただいた貴重な期間でもありました。食事ができることの有り難さ、人を敬愛することの大切さ。何でも当たり前だった甘えた生活をしていただくとつとて、とても大切な気づきを多くい

ただいたと思っております。

修行を終え、鳳林院副住職を経て、駒澤大学同窓会茨城県支部様にも大変お世話になっている父であり師匠の竹内昌信住職(現東堂)から、平成12年28歳の時に鳳林院住職を拜命いたしました。師匠は、父である先代住職を20歳で亡くし20代前半から鳳林院住職として当院を護持してきました。その師匠から「若いうちに色々経験した方がよい」という胆識からでた言葉をいただき、若輩者ではありますが住職の大役をいただきました。私が今も鳳林院三十三世住職として務めさせていただくことができますのは、有縁無縁の多くの方々のお支えがあったからだと思います。

現在当院では、坐禅会や写経、インターネットの活用、さらにはテレビや雑誌、行政広報等々の紹介の機会をいただき、檀信徒のみならず多くの方々に参加をいただける寺院として日々精進させていただきます。

私の長男は本年駒澤大学を卒業し大本山総持寺(横浜市)に修行に入り、次男も無事本年駒澤大学に入学することができました。三世代にわたり駒澤大学にお世話になり、色々な学びやご縁をいただくことができています。駒澤大学という歴史ある大学を軸に多くの方々との縁を結べますことに感謝し、これからも寺門の興隆、そして地域が少しでもより良くなるよう邁進して参ります。



第13回 駒澤大学茨城県同窓会

新型コロナウイルス感染症による活動の緩和により、やっと総会および懇親会が開催できる運びとなりました。これを機に茨城支部も設立総会のあのホテルマロウドが満員になったのを思い出し、もう一度みんなで楽しい同窓会活動を始めましょう。どうぞ、お気軽にご主人、奥様、お子様、彼氏・彼女もご同伴で振るってのご参加をよろしくお願いいたします。

〔日時〕 令和5年 **11月18日(土)**

●受付 11:00～ ●総会 11:30～ ●懇親パーティー 12:30～15:00

〔会場〕 **L'AUBE Kasumigaura** ローブ・カスミガウラ

〔会費〕 男性 **¥6,000** 女性 **¥5,000**

※同伴者は左記同様、但し未就学児は無料
(ソフトドリンクのみ提供)

令和元年以降の卒業生は半額といたします

〔ゲスト〕

黒木悦子

シャンソン
カンツォーネ歌手



本学文学部卒業。シャンソンを堀内環氏に師事。コミカルな持ち味と豊かな情感を活かし、ライブやディナーショーを中心に活躍中。

〔ゲスト〕

なか。たつや

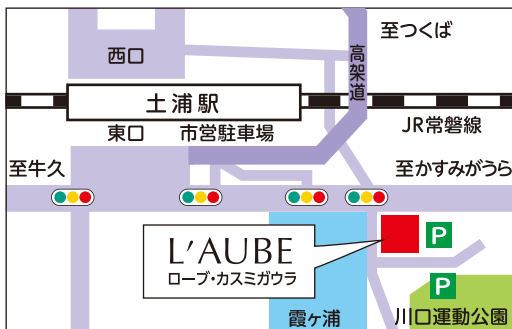
マジシャン



本学政治学科卒業。つくぐものまねをしながらマジックを披露、付き人も経験。一期一会プロモーション設立。マジシャン・イベント企画、コミュニケーションコンサルティングを手掛け、心のマジシャンとして活動中。

お申し込み方法

同封の返信用のはがきをご利用ください。メールの場合は piropipro551@ybb.ne.jp (堀博)
申し込み締め切り 10月31日(火)



お問い合わせ

染谷時一 TEL.090-3243-7949 Fax.0280-87-0812
神原俊行 TEL.080-5439-4727 Fax.0297-66-7514

L'AUBE Kasumigaura ローブカスミガウラ

〒300-0033 茨城県土浦市川口2-11-31

TEL. 029-875-8888

○電車でお越しの方 JR土浦駅東口より徒歩約5分

○お車でお越しの方 常磐自動車道 桜土浦ICより約15分

駒澤大学同窓会 茨城県支部の地域割

県西地区

11市町・1,199名

桜川市	76名
筑西市	199名
結城市	113名
下妻市	81名
古河市	318名
常総市	113名
坂東市	82名
守谷市	128名
八千代町	33名
境町	44名
五霞町	12名

県南地区

14市町村・2,015名

副支部長 岡本迪之
同 根本洋治
同 片岡光雄

石岡市	162名
小美玉市	75名
かすみがうら市	88名
土浦市	268名
つくば市	373名
牛久市	179名
つくばみらい市	107名
龍ヶ崎市	223名
取手市	272名
稲敷市	65名
阿見町	108名
利根町	52名
河内町	17名
美浦村	26名

県北地区

6市町・644名

副支部長 大部勝規

北茨城市	62名
高萩市	47名
日立市	295名
常陸太田市	117名
常陸大宮市	87名
大子町	36名

県央地区

8市町村・1,111名

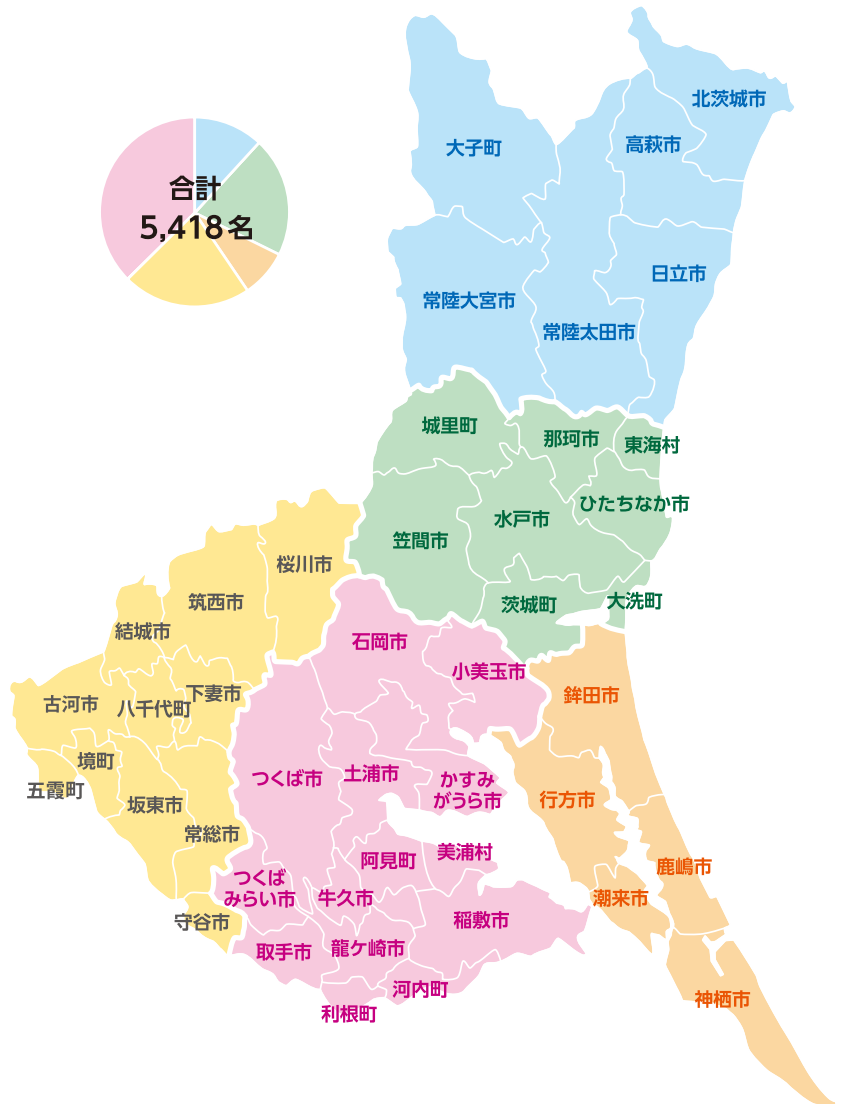
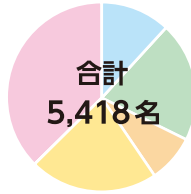
副支部長 高崎進
同 小山秀夫

水戸市	470名
ひたちなか市	244名
那珂市	97名
笠間市	143名
城里町	35名
茨城町	46名
大洗町	20名
東海村	56名

鹿行地区

5市・449名

鉾田市	69名
鹿嶋市	89名
潮来市	83名
行方市	79名
神栖市	129名



お問い合わせ先

■ 支部事務局
染谷時一 TEL 090-3243-7949
FAX 0280-87-0812
神原俊行 TEL 080-5439-4727
FAX 0297-66-7514

■ インターネット申込 (堀博)
piropipro551@ybb.ne.jp

■ 茨城支部
ホームページ



<https://komazawa-u-ibaraki.jp>

会費納入のお願い

日頃より同窓会活動にご理解とご支援をいただきまして心より感謝申し上げます。広報誌「常陸17号」発行時、会費納入のお願いをいたしました。皆様は、皆様の暖かいご理解ありがとうございます。常陸18号も皆様のご理解をいただき、カラーA4、4ページで作成しました。総会のご案内と現在の各地域の同窓生の分布を掲載させていただきました。ご自分の地元これだけの同窓生が生活されていることを実感していただければと思います。広報誌は二年に一度発行しておりますので、皆様の地元のお祭りや、名産品の紹介、レジャースポットなどの記事をお寄せください。事務局といたしましては多くの皆様に参加できて楽しめるような企画を今後提案いたしますので、相変わらぬのお願いで恐縮ですが、会費の納入とご連絡をお願いいたします。ホームページもごらんになってみてください。

「支部会費」

2年間で
男性5千円・女性3千円

「振込先」

ゆうちょ銀行振替口座
0120121669131

駒澤大学茨城県同窓会

駒澤大学陸上競技部も合宿に利用しています!
VILLA TONOHARA



〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1223-3730

TEL: 0268-74-2126

(受付時間 9:00~21:00)

駒大茨城と
伝えてください。
サービスいたします。